

024.01.25.「木曜礼拝」今現在成就している聖書預言

エゼキエル 38 章.

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。おお、どれほどこの木曜日の夜のあなたの御言葉での学びが必要でしょうか。今夜のこの書の学びをあなたに感謝します。この指導者を、私たちの牧師をあなたに感謝します。今夜、J.D. 牧師が、あなたの御言葉を届けます。それが私たちの心へ祝福となり、私たちが受け取れ、力づけて下さいますように。あなたが非常に祝福くださったこの場所で共に過ごせる時間を改めて感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

皆さん、こんばんは。どうぞご着席ください。もう座ってます？ 私が「ご着席ください。」と言うのを待たなかったのですね。わお〜。今夜がどんな夜になるかわかりますよ。荒っぽい群衆。構いませんよ。オンラインでご参加の方も歓迎します。2、3 連絡事項です。日曜日にちゃんとお知らせしますけど、最新情報詳細を伝えるのを楽しみにしているのが、マウイ・ミッション支援とイスラエル・ミッション支援の両方について、非常に詳細な最新情報です。なので、今週はそれに取り組み、今日から取り組んで、日曜日にそれを分かち合えるのを楽しみにしています。ですから、、、それでは、始めましょう。待望の、そう、皆さんご機嫌いかがです？ 「エゼキエル書 38 章」です！！ 長年、私たちと共に、一緒におられる方は、まずは、神はあなたを祝福されています。あなたは天に宝を積んでいますよ。で、つまりこの章は、長年に渡り、多くの「聖書預言・アップデート」の最前線でした。私たちは、長い年月を経て、聖書を書ごと、章ごと、節ごとに学んできて、そして 37 章を終えました。ええ、意味深なのは、分かっていますけど、38 章は、37 章の次です。そして今、私たちは、「エゼキエル書 38 章」にいます。この章は非常によく知られている章で、非常によく知られている預言です。言うまでもないことでしょうけど、よく知られた預言であるだけでなく、今、正に起こっているよく知られた聖書預言です。リアルタイムで、猛スピードで今起こっています。で、預言の中にある特定の詳細を強調し、地政学的に起こっていることとの点と点を結ぶ聖書預言・アップデートの文脈ではなく、「エゼキエル書 38 章」を違えて教える準備をし、私はずっと期待をしてきました。

ええ、今夜はそれをしません。がっかりして目を丸くする前に、最後まで聞いてください。この章は、エゼキエルが聖霊の靈感を受けて預言した時点の文脈で理解されなければなりません。これを一緒に考えてみてください。2 週間前に、37 章まで学びました。あ、皆さんの優しさに感謝します。先週、38 章の教えの準備は完全にできていましたが、休みをいただいたので、「エゼキエル書 38 章」を教える準備のための 1 週間を増やしてもらって。それが休んだ理由ではありませんでした。先週は、家内と一緒にいる必要があったので。ですから、私たちは 37 章まで学び、今や、38 章に入ります。37 章の預言は、大半が成就しました。事実、述べたように、しないで欲しいのですが、いや別にしてもいいですけど、ご自分の聖書に 37 章成就と書く。で、今 38 章に入り、それはまだ成就していません。でも成就しようとしています。では、5 つほど巻き戻しましょう。38 章には、入りますけどちょっとお付き合ってください。5、6 章巻き戻してみる。それ以上でもいいです。ええ、2006 年から毎週、「聖書預言・アップデート」をしています。ということは、17 年？ 18 年ですね。それって大量の聖書預言・アップデートですよ。私はこのことを振り返ってみると、「聖書預言・アップデート」は、2012 年頃から全てが変わってしまう前の 2019 年頃までは、こう述べても差し支えないと思いますが、これらの預言・アップデートの大半は、この特定のエゼキエル書 38 章に集中していました。なぜか？ 理由は、ここに記され、古代名で呼ばれている国々は、5 年前も 10 年前にもいなかったけれど、こんにち現在そこにいる連合国です。また、一緒に考えてください。今から 5 年後、10 年後、彼らはもうそこにはいないでしょう。ことわざの”鉄は熱いうちに打て”だからです。もう一度、よく考えてみてほしいのです。これらの展開には賞味期限があります。聖書預言に賞味期限があるように、いわば消費期限があります。すなわち、統計学的に、、、私が言うのは簡単ですが、エゼキエルが約 2500 年以上前に預言したこれらの国々が、こんにちのように揃う確率は、統計学的に計算不可能です。あなたは次のように考える。この特別な預言が成就する統計学的確率は、考えすらできません。1948 年以前は、この預言は机上にさえなかったから。それ以前の預言は、イスラエルがこの地に帰還するというものだったから。イザヤが修辭的に質問します。「国は一日で生まれるだろうか？」(イザヤ 66:8 参照)

神がイザヤにそう問いかけられたのだと思います。その答えは：「はい。」そしてそうになりました。1948 年 5 月 14 日に成就しました。それですべてが動き出したのです。実際、私は 1948 年 5 月 14 日に、預言の歯車が動き始めたこと心から信じています。それから年月が経ち、私たちがここにいて、イスラエルが国として再建した今、エゼキエル書 38 章が再び机上にあります。イスラエルが地に戻り、国として再建後、この国々の連合国に侵略される預言だからです。名称は、順に合計 7 あって、完全数の 7 です。今から見ていくように他にもありますが。彼らがイスラエルに侵略するのは。この預言成就の、彼らが侵略するイスラエルが存在しないなら、彼らはどうやってイスラエルを侵略し、この預言を成就するのでしょうか。この章を読

み進めていく中で、ある意味、この有名な預言について、これまで私たちが知っていることをすべて脇に置いておくことができると思います。私は、この預言をもう一度新たに見直してみたいのです。分かりますか？ 今夜は、聖書預言の教えや聖書預言・アップデートという文脈なら、通常するのとは違ったアプローチをしたいのです。ですから、その全文を見ていくつもりです。因みに通常、エゼキエル書 38 章と 39 章は一緒に教えられています。ですから、なぜ 38 章と 39 章を一緒に教えないのかという質問されるなら、私はそうしたくないからです。そう、つまり、それは聖なるもので、実際よりも霊的に聞こえるようにしていますけど。いえ、本当に、いわば、狂ったことの裏には方法があって、主の御心なら、来週の 39 章は、どのように聖書預言が私たちの目の前で成就しているかについて、今夜の教えのパート 2 だからです。これは今起きています。それをよく心に刻んでください。ええ、考えてみてください。議論のためにこう言いましょ。2500 年前に書かれた預言をそのまま目の当たりにしているのです。その月日には、多くの世代がありました。つまり、彼らはそれを教え、学び、それについて話すこともでき、興奮することもできました。でも、「私たち」がそれを目にする世代なのですよ！！ 鳥肌ものでないなら何です？ ええ、そう、神の御言葉は生きておられ、今日、私たちの前にある章は、そういう事例です。繰り返しますが、聖書預言を学ぶ学生や教師にとって、これが焦点となるのには、本当にいくつかの理由があって、その理由のいくつかは、以下の通りです。

1：この預言は非常に詳細である。

この預言の具体性は、聖書預言の中でも独特です。つまり、神にしかおできにならないということが、はっきりとわかるような詳細が、私たちには与えられています。事実、神は今から見ていく通り、仰います。「そのとき、わたしが主であることを知る。」慣れてくださるといいんだけど。慣れていないなら、ご期待ください。どういうことかと言うと、38 章 39 章は、現在起こっていること。40 章から書の残り 48 章までは、これから起こること。言い換えれば、千年王国のこと、王国時代、それは地上で 1000 年間の支配統治、罪が世に入る墮落前の状態になります。1000 年、私たちは話していたのですが、「携挙が待ちきれません。永遠が待ちきれません。」でもちょっと待って。私たちは、地上での 1000 年の安息期間を与えられ、栄光の体で 1000 年間、キリストと共に支配し、君臨するのです。1000 年間ですよ。でも、1000 年とは思えないでしょう。そして、その時は、永遠の未来はまだ始まっていません。新天新地は？ いえ、その前に、千年王国があります。ですから決まりです。それが 40 章から 48 章ですよ。それが王国時代、千年王国です。それから永遠の未来。イスラエルに関し、イスラエルに特化する。イスラエルは世界のへそ、中心です。どうして？ イスラエルが中心で、3 つの大陸を結んでいます。この預言の展開の一部として、世界の中心はイスラエルで、イスラエルの中心はエルサレムで、エルサレムの中心は神殿で、そして、神殿の中心は聖なる聖所です。つまり、へそ、焦点です。ですから、神には世界地図があられ、アメリカはその中心ではありません。言いたくはないですけどね。もちろんそうですよ。荒っぽい群衆ですね。ですから、もう始めますからね。これはただの導入ですけど、ここで基盤を固めないといけけないので。何年も前にロシアにいて、その神学校で教えていたことを分かち合ったことがありますね。生徒たちが寮の壁に貼ってあった地図を私に見せてくれました。生徒たちが言いました。「この地図に何か気づきましたか？」とても鋭く、聡明で、素早かった。牧師の私はこうなりました。は～？ 全部ロシア語だったから。生徒たちは、私を助けてくれました。同情してくれたんだと思います。「地図の中心を見てください。」私は、「あ、アメリカじゃない。どうなってるの？」ロシアが中心です。ロシアの世界地図の中心は、ロシアです。アメリカの世界地図の中心は、アメリカです。では、神の世界地図の中心は、イスラエルです。言わば、それが爆心地です。じゃあ、それでは、「エゼキエル書 38 章」は、非常に詳細で、この国家連合国がイスラエルを侵略する理由、イスラエルを侵略してくる方向、イスラエル侵略の目的まで語られています。そのような詳細は、まさに良くなりそうで、描写を使わせてください。これはしばらく使うことになるでしょう。実は、これはとてもいい描写なんです。昔の話ですけど、白黒テレビを見ていた時、子供たちにこんなことを言ったことはありませんか？

「うわ、何も見えない。」5828 チャンネル。リモコンがいるね。ええ、僕らのリモコンはダイヤル式。チャンネルは 3 つありました。そういう時代です。でしょ？ そして、通学路の歩き方について言ってみると雪の中で、靴を履かない。往復ともね。で、これがその例えと描写です。つまり、白黒のあやふやな映像を見ているようなもので、HD どころじゃありません。H はおろか、D もないと思うほど、あやふやで、白黒、小型管。アンテナにアルミホイルを貼らねばならない、電波が入るように。OK。それは比べると、言いますよ。IMAX (巨大映像) 3D (立体的) 4K。もう少し英数字を追加する必要があります。ついてきていますか？ つまり、差があるんです。この詳細は、白黒映像から 3D の IMAX 映像へと移行し、4K、今まさに 8K です。マイク、今は 8K だね？ もう 16K？ 8K です。意味はマイクに聞いてください。喜んで答えてくれます。ごめん、マイク。(笑) でも、私たちが話しているのは、これは情報が多すぎて、鼻毛が見えます。いえ、それほど詳細です。4K？ 8K くらい。つまり、とにかく、もう十分ですね。それが、この預言がそれほど詳細であること。そうでなければ見えないものが、この預言の詳細細部で見えてきます。その詳細は大

変具体的です。OK。祈って始めましょう。準備はいいですか？ 導入はここまでにして、ほとんど締めくくりの祈りの時間です。えー、祈りましょう。お父様、ありがとうございます。主よ、今夜、これは力強く、ここ「エゼキエル 38 章」は、非常に有名な章で、私たちは大いに期待しています。あなたが執り成され、私たちのこの目で、この預言が、どれほど現実的なのか、今どのように展開されているか見れるようにしてください。イエスの御名によって、アーメン。

あともう 1 つ。それから、1 節から始めます。聖書預言の目的は、イエスが仰ったように、起こる前に何が起こるかあなた方に伝え、それが起こったとき、「わたしはある」ことをあなた方が信じるようにすること。そして、わたしが以前、起こるとあなた方に語ったことが、現実になり始めるのを見るとき、そのとき、信者は顔を上げ、頭を上げます。贖いが近づいているからです。(ルカ 21:28)

どれだけの人々が聖書預言、聖書預言の現実が故、イエス・キリストの救いに辿り着いたかご存知ですか？ どれだけの人々が、聖書預言が故にこの世やこの世のものに対して、執着してきたものを緩めたかご存知ですか？ この世の命のはかなさと永遠のいのちの現実、そして私たちの贖いの近さを思い起こさせるからです。それは、私たちの生き方を変える影響があります。今、私たちは永遠の光のうちで人生を生き、私たちの永遠が近づいていると知るからです。これらはタイムスタンプで、車のダッシュボードの警告灯が発しているようなものです。「警告！警告！警告！」あなたは何かせねばなりません。電気工事用のテープで隠さないでください。非常に深刻な事態を知らせる警告です。それが聖書預言がすることです。OK。始めましょう。

準備はいいですか？ 1 節、

一エゼキエル 38:1

次のような主のことばが私にあった。

一エゼキエル 38:2

人の子よ。メシエクとトバルの大首長である、マゴグの地（これは北の果てに実在する土地です。）のゴグ（これはマゴグという土地の支配者の称号です。）に顔を向け、彼に預言せよ。

ここからがちょっと、より良い言い方が見つかりませんが、言葉が巧妙です。「ロシュの王子」は、ヘブライ語とアラブ語では、「ロシュ」またはアラビア語で「ラス」は「頭」を意味します。もし私がアラビア語でこう言うなら、ラス・アンビョージュヌ。「ラス」は頭ですから、「私は頭が痛い。」私の頭が痛がっている。文字通りの訳です。つまり、これは頭で、大首長、ロシュ、首長の頭です。ある人たちは、、、、解釈はそれを要求していないし、それを否定すべきでもありませんが、しかし、彼らは「ロシュ」を「ロシア」と訳し、「メシエク」は「モスクワ」、「トバル」は「トボリスク」で、全てロシアです。覚えておいてください。

ですから、大首長、ロシュの首長ではありません。ロシュは場所であり、それゆえロシュはロシアであると解釈されるからです。私は個人的にそう信じていて、独断的ではありません。実際、前もって警告しておく必要があるのは、私たちがここを学ぶとき、私は、、、、私たちがここを学ぶとき、聖霊に余地を与えたいのは、この預言の解釈について、それほど独断的になることはないと思うからです。この預言について私たちの有限な理解で、自分自身を押し込め、神を閉じ込めてしまうなら、私たちは大きな過ちを犯すことになると思います。ですから、ロシアではないとは言っていないし、ロシアだとも言っていません。私が言いたいのは、この箇所では、ロシュの首長ではなく、大首長という解釈が可能であること。ここまでいいですか？ まだ 2 節です。もういいはずです。留意して欲しいのですが、これが、場所ではなく、人であることの論拠であり、その人物に対する預言です。それが分かりましたか？ この支配者、この大首長、

一エゼキエル 38:3

『神である主はこう言われる。メシエクとトバルの大首長であるゴグよ。今、わたしはおまえを敵とする。』

一エゼキエル 38:4

わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。それはみな完全に武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。

さて、4 節では、少なくとも非常に強力な軍隊と、神が彼らをどのように引き入れようとされるかが描写されています。ちょっと生々しすぎるかもしれませんが、誰かの顎に鉤をひっかけたら、どこへでも連れて行けます。ですから、神がそうされるのは、、、、それは公平じゃないと思わないように。つまり、神がゴグの顎に鉤をかけられるなら、この「ゴグ」に選択はありません。まるで、神がゴグをイスラエルと戦わせるために、仕方なく連れ出されたのではなく、これから見るように、主はこの支配者の心にすでに意図されていたことをされているだけです。5 節、古代の名称で、最初の「ペルシャ」は簡単です。「イラン」です。実際、イランと名付けられたのは、もう何年前か忘れてしまいましたが、前世紀でした。1979 年、イラン・イスラム共和国となって、その後で、、、、何？何でしたっけ？ 皇帝シャーです。ありがとうございます。私はやめておきます。これを台無しにしていますから、でもイラン人は明らかにペルシャ人です。

エチオピア：翻訳者が実際の現代の国名を教えてくれるのが好きです。エチオピアとリビア。これがその地域を網羅します。重要なのは、この預言が記された古代の国々には、現代の私たちが知っている同じ国境で

はないと理解すること。イランとエチオピア、それにスーダンとリビアを加えることができ、その地域はすべて、

「彼らとともにいて、みな盾を持ち、かぶとを着けている。」(エゼキエル 38 : 5)

—エゼキエル 38 : 6—

ゴメル...

それは誰か？ 東欧、ゲルマン民族、ドイツという説もあります。

...そのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマとそのすべての軍隊、それに多くの国々の民がおまえとともにいる。「多くの国々の民がおまえとともにいる。」

つまり、北から来る民もいれば、東から、西から、南からの民もいます。あなた方は皆、力を合わせ、同盟を結び、大きな軍事力をもっています。わたしはあなたのおごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢をわたしの民に敵対させる。(エゼキエル 38 : 4 参照) トガルマとは誰か？ ベテ・トガルマとは、これはアラビア人とヘブル人が言うことですが、ベテ・トガルマ、家/一族、ベテ・ワヒード。彼らはそう言いますが、ワヒードの父の家/一族、ベテは「家/一族」です。サウドの家/一族、サウジアラビア人：13 節で登場します。で、トガルマの家/一族とは誰か？ 北の果てからです。イスラエルを中心とした地図を北にまっすぐ進むと、トルコ、ロシアです。カスピ海沿いです。ですから、私は、「トガルマの家/一族」はトルコであると考える派です。さて、ロシアではなくトルコだと信じる人たちがいるのをお伝えせねば、大変失礼だと思います。説明する時間を取りたくないし、説明するのが重要でもない理由から、私はそこには入りません。ロシア、イラン、トルコの解釈で私はやはり大丈夫です。地政学的な情勢は、まさに今週それを証明しました。これは木曜日です。私はすでに、、、日曜日の「聖書預言・アップデート」には今は入りませんが、しかし、私はすでにロシア、イラン、トルコについて、3 つの報道を入手して、「エゼキエル 38 章」の匂いが非常にします。ここで置いておきます。では、トガルマはわかりましたね。多くの人が信じているのは、これは北の果てからのトルコであること。さて、7 節、

—エゼキエル 38 : 7—

備えをせよ。おまえも、おまえのもとに召集された全集団も構えよ。おまえは彼らを統率せよ。

—エゼキエル 38 : 8—

多くの日が過ぎて、(さて、これは重要です。) 多くの年月の後、(終わりの時、終わりの日)

「エゼキエル書 37 章」から「エゼキエル書 38 章」までを思い出してください。「エゼキエル書 37 章」は現在の時制で当時に遡ります。今は終わりの日で、「エゼキエル書 38 章」。私たちの時代で、終わりの時です。7 年の患難時代の間という説もあれば、7 年の患難時代前という説もあります。つまり、ニュースフィードに載るとのこと！ ある人たちはこう信じています。準備はいいですか？ 教会携挙と同時に起こる。私はそれが気に入っています。こんな感じで、「おお、ニュースになってる？」ブン！私は消えます。ニュースフィードも読めませんでした。ですから、終わりの時、

...おまえは徴集され、多くの年月の後、(終わりの時) ...おまえは、一つの国に侵入する。そこは剣から立ち直り、多くの国々の民の中から、久しく廃墟であったイスラエルの山々に集められた者たちの国である。...

(2000 年のようです。) ...その民は国々の民の中から導き出され、(散り散りにされていたところから) ...みな安らかに (安心して安全に) 住んでいる。(1948 年 5 月 14 日から現在に至る。)

—エゼキエル 38 : 9—

おまえは (再び、「ゴグ」あなたと同盟を結ぶ多くの国々) 嵐のように攻め上り、.....おまえと、おまえの全部隊、それに、(ここで再び) おまえにつく多くの国々の民は、地をおおう雲のようになる。

—エゼキエル 38 : 10—

神である主はこう言う。その日には、おまえの心に様々なことが思い浮かぶ。おまえは悪巧みをめぐらして、

止めます。神はあなたの心を読めます。気をつけてください。神はあなたの考えをご存知です。あなたの心の意図をご存知です。

「人はうわべを見るが、主は心を見る。」(I サムエル 16 : 7 後半参照)

では、なぜゴグのおごに鉤をかけることが不公平、不当に見えるのかの話に戻します。いえ、神はすでに決めておられました。神は、ご自分のお心と思いのうちで、すでに成すと決められたことをされているだけです。神はすでにこの邪悪な計画を目論んでおられました。うはははは。ですから、神は、「よし、これをしよう。わたしが手伝おう。」

—エゼキエル 38 : 11—

こう言うだろう。「私は無防備な国に攻め上ろう。...

これについて話す必要があります。これは本当に多くの人をつまづかせ混乱させます。そうであってはなり

ません。議論は：今そんなことは起こり得ないから。2000年代初期のインティファダの後、バスが爆破され、ユダヤ人が殺され、殺害されたので、彼らは、一緒にイスラエルに行った人たちは、ベツレヘムとイスラエルは、巨大なコンクリートの壁で隔てられていますね。ですから、彼らは、壁ができたからもうこれは起こらないと言っています。「エゼキエル書 38 章」の預言には、彼らがイスラエルを侵略するという不都合な詳細があり、イスラエルに侵攻する時には、壁がないんだからと。ご辛抱ください。しかし、これは城壁、旧市街の城壁です。唯一手付かずで残っているのは、「嘆きの壁」、別名「西の壁」と愛称されているものだけです。それは、エルサレムの古代都市である旧市街を囲んでいた城壁にすぎません。エルサレムの周囲に壁はありません。この預言は、イスラエルの他の地域に築かれた城壁に限定するものではありません。この預言が今、絶対に可能なのは、エルサレムの周りには城壁がないから。いいですか？OK。

..**安心して暮らす平穏な者たちのところに侵入しよう。彼らはみな城壁もなく住んでいる。(再び) かんぬきも門もない**」と。

それはもっと具体的です。今ここにある壁がまだ残っているからで、門も鉄格子も有刺鉄線も他にもあります。で、エルサレム周辺の城壁に限った話ということで私たち、大丈夫ですか？「ゼカリヤ書 14 章」最初の 3 節を考えてみましょう。この預言はゼカリヤだけでなく、今から見ていく、他の預言者たちとも一致するからです。エルサレムは包囲される。エルサレムは全世界をよろめかせる杯となり、重い境界石となります。なぜなら、彼らはエルサレムを分割し、境界石を動かし、二国家間解決を実現しようとするからです。あなたがわたしのエルサレムを分割するなら、わたしはあなたを切り刻む。一神は宣言される（ゼカリヤ 12：3 参照）

ですから、私たちはエルサレムが中心でなければなりません。エルサレムの外に出れば、あらゆる可能性が開けますが、そのどれもが、この特定の預言に関しては、何の意味もありません。では、12 節、

一エゼキエル 38：12

それは、おまえが略奪し、獲物をかすめ奪うため、また今は人の住むようになった廃墟と、国々から集められて地の中心に住み、家畜と財産を所有した民とに向かって手を伸ばすためだ。

限定条件があります。へそ、中心を覚えていますか？それがエルサレムです。そこがイスラエルの中心です。その地の真ん中です。ところで、条件について話します。：この預言が成就するとき、イスラエルは非常に繁栄していなければなりません。こんにちのイスラエルは非常に繁栄していますか？あなたには分からない。絶対に分からない。富の総計です。すぐその話をします。死海から産出される天然資源、テルアビブの沖合の地中海ハイファ地域で最近発見された石油。これは、神がただこれをなさっておられるようです。イスラエル沖で最近発見された石油と天然ガスが、実はペルシャ湾の石油のすべての源という見方もあります。おおお～問題発生です！ですから、それを叩けば、もう石油は出ないさ。それが資源です。実際、私たちはあなたたちがそこから奪った石油の全ての借りを返して欲しいんです。それが源です。こっちにあります。神は私たちにそれを与えられ、あなたがたは私たちからそれを奪ったんだぞ。今、あなたはそれを取り返したいの？ある人が言ったように、SPOIL/略奪とは、実際、「SPOIL」から「SP」を外すと OIL/石油になるから。一（笑）一 OK。ちょっと先走りすぎのようです。しかし、ここに 3D、4K があるのがわかりますか？イスラエル：これが侵攻の背後にある動機です。イスラエルはこの富と資源をすべて得ました。彼らはそれを手に入れたいのです。今、私たちはそれを目の当たりにしようとしています。13 節、

一エゼキエル 38：13

シェバやデダンやタルシシュの商人たち、...

輸出業者、輸入業者、貿易業者、これらすべてのお金を稼ぐ人たちは。シェバやデダンとは誰ですか？それが誰かはお存知、サウジアラビアです。アラビア半島も前世紀にサウド家/一族に与えられたもので、ワッハーブ派ではありません。おそらくそれを言うんじゃない。アラビア半島を手に入れたのはサウド家/一族でした。もしワッハーブ派が手に入れていたら、サウジアラビアとは呼ばれませんでした。ワッハーブ・アラビアと呼ばれたでしょう。私は「ワッハーブ・アラビア」がなんか気に入ってます。ちょっと響きがいいです。「ワヒード・アラビア」みたいで。でもとにかく、話がそれました。ですから、これがサウジアラビアです。よくわかりますね。では、「タルシシュ」が誰であるかについては、多くの議論があります。ある人は英国、ある人はスペイン、またある人は他の国だと言います。しかし、再度、興味深い詳細があります。

..**おおよびそのすべての若い獅子たちは、おまえに言うだろう。(彼らは抗議して、あなたに質問する。)** ..

「おまえは分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために隊を構えたのか。銀や金を運び去り、...

おお、ところで、金（ゴールド）だって。ほ～！金がイスラエルに？誰にも言わないでください。遅すぎます。彼らは知っています。以前、私は同僚の牧師で私の良き友のキリストの兄弟と話していて、彼はイスラエルに親しい友人がいて、いつもイスラエルに行来きする人物で、誰もがアクセスできないイスラエルの場所や事柄に内部からアクセスできました。彼はイスラエルで黄金が見つかったと教えてくれました。絶対

あなたを驚かせると。いえ、考えてみてください。神殿が破壊されたとき、黄金はどこへ行ったのか？ 神殿にどれほどの黄金があったかご存知ですか？ つまり、いっぱいでした。実際、ローマ帝国がそれを破壊した時、「マタイの福音書 24 章」で、イエスが仰ったように、彼らは石を取り、その巨大な石の間にある黄金を溶かし取り出しました。あれは何でもない。チップみたいなものだ。はい、どうぞ持っていきなさい。しかし、イスラエルが持っていた黄金は、、エルサレムの包囲と破壊を予期し、彼らはエルサレムから、神殿から黄金を持ち出しました。彼らは隠しました。そして最近、それが発見されました。ですから、明らかに、誰かが情報を漏らしましたね。ゴグがそれを知り、今、すべての繁栄と富、富、信じられないほどの富を奪いに来ようとしているからです。ですから、彼らは侵略者に質問し、抗議し、問いただしています。

「何をするつもりですか？ あなたたちはやって来て、このすべてを奪い侵略するつもりですか？」
訳すと：私たちは仲間に加わりたい。いいえ、マジです。それがこのような商人がすることです。彼らはお金のことしか考えていません。シェバとデダンがサウジアラビア。ご存知、彼らは...父が生きていた頃を覚えています。父はサウジアラビア人の話をしてくれました。言えませんが。言うまでもなく、彼らはとてもお金持ちです。ガソリンスタンドにあるようなガソリンポンプを使ってガソリンを撒くのです。私はこんな感じで、「それ 1 ガロン 5 ドル、、冗談でしょ。」はい。彼らにとっては違います。彼らはこんな高価なものを買います。昔、私はメルセデスで働いていましたから。彼らは 10 万ドルも 20 万ドルもする特注メルセデスを買います。現在の 50 万ドルに相当する額です。何台も買っては乗り回し、傷がついたら新しいのを買います。それは大金です。1 バレルの石油を生産するために、、これは大雑把な描写ですけど、ポイントはわかるとおもいます。たぶん 10 ドルくらいだと思うけど、150 ドルで売る。計算してください。ですから、彼らが注目したのは、イスラエルがこんにち持っている富を奪うためのこの侵略です。では、14 節からは、言わば別の課題です。

一エゼキエル 38 : 14 一

それゆえ、人の子よ、預言してゴグに言え。『神である主はこう言われる。わたしの民イスラエルが安心して住んでいるとき、まさに、その日、おまえは知ることになる。

それはゴグに問いかける修辭的な質問です。神はゴグに問いかけます。「わたしの民、イスラエルが安全に、安心して住んでいると、あなたがたは気づかないのか。」そう、これは問題です。多くの人が、この預言は今すぐには成就しない、イスラエルは厳戒態勢にあるのだからと解釈しているからです。それはそういう意味ではありません。どうか最後まで聞いてください。この「安心して住んでいる」は、「自信に満ちて住んでいる」という考えを含みます。あえて言えば、「傲慢に」。イスラエルの誰かや何かについて、どんな動画を見ても、どんな報道を読んでも、これを聞かすにはいられません。：「我々が勝つんだ！」

おお！待って。そのどこに神がおられますか？ まあ、それはかなり傲慢です。自信満々です。

IDF：我々は彼らを殺す。我々は彼らを必ず見つけ出す。傲慢な自信の極みです。それこそが、エゼキエルがこの預言で述べていることです。だから、その欄にレ点を入れてください。この預言の中で、これが起こるためにすでに準備されていないものは何もありません。その点をはっきりさせてください。これが展開するために何が必要かという点で、欄にレ点を入れるべき項目にレ点を入れないなら、今あなたがしたことは、私の主人が来られるのを遅らせたこととなります。あなたはそれをしたくないはず。「マタイ 24 章」です。あなたは今、主の来臨と私との間に何かを置いた。いい結果にはなりません。言っておきます。「マタイの福音書 24 章」、正しいしもべと悪いしもべのたとえ話で何が両者を分けたのか？ 正しいしもべが忠実であったのは、主人はいつでも戻られると知っていたからです。悪いしもべは言いました。「主人の帰りは遅くなる。パーティーしようぜ。時間はある。急がず、心配せず。」(マタイ 24 : 48 参照)

いや、ここまでのところで重要な教訓は、、先を続けねばなりませんけど、これは：緊急/切迫です。

「今」が。どうか、どうか、どうか。お願いします。ここから「今」を取らないでください。その緊急/切迫を取り出さないでください。ここから緊急/切迫を取らないでください。これはその寸前です。つまり、統計学的な確率は、そう呼べるなら、これらの役者が、すべてが完璧に、私たちが語られた通りに今この時点で揃ったということです。5 年前はそうではありませんでした。今から 5 年後に、彼らはいません。すべてが迅速に動いているのですから。当たり前です。2 年後さえわかりません。地政学的な状況は急速に変化しています。つまり、これが揃っているんです！「今」「今」「ええでも、彼らは、安全で安心して暮らしていなければならない。」違います。「傲慢に、自信を持って。」です。すでに彼らはそうしています。「彼らは繁栄していなければならない。」すでに彼らはそうになっています。「彼らは城壁があつてはならない。」ありません。エルサレムの周りには。他に議論したいことは？ OK。あなたは議論したくはない。15 節、

一エゼキエル 38 : 15 一

おまえは北の果て(←鍵)のおまえの国から、(これ↓3度目です)多くの国々の民とともに来る。彼らはみな馬に乗る者で、大集団、大軍勢だ。

一エゼキエル 38 : 16 一

おまえはわたしの民イスラエルを攻めに上り、地をおおう雲のようになる。終わりの日に、そのことは起こる。ゴグよ、わたしはおまえに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがおまえを使って、国々の目の前にわたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知るためだ。

おお、神がご自分を自慢されるのが大好きです。

一エゼキエル 38：17ー

神である主はこう言う。おまえは、わたしが昔、わたしのしもべであるイスラエルの預言者たちを通して語った、まさにその者ではないか。この預言者たちは長年にわたり、わたしがおまえに彼らを攻めさせると預言していたのだ。』

その通りです。点と点が繋がりましたか？ ゼカリヤ、イザヤ、ヨエル、その他の預言者たちです。「待って。彼らは、このエゼキエル38章の侵略について預言していたのですか？」はい。再度、「ゼカリヤ書14章」、このことについてを語っていない箇所は見当たりません。「ヨエル書」も同様。この預言は、神がゴグに尋ねておられます。「あなたは、かつてわが預言者たちを通してわたしが語った者ではないか。わたしはあなたのことを語ったのだ。」「私のことを語ったのですか？」「そう、あなたのことだ。あなたをわたしの地に向かって敵対させると。」「なぜ？」「そうすれば、あなたは、わたしが主であると知る。わたしが聖であると知る。』

一エゼキエル 38：18ー

ゴグがイスラエルの地を攻めるその日—神である主のことば—わたしの憤りは激しく燃え上がる。

この箇所は、一通り読んで、ただ通り過ぎてしまうような箇所です。でも、そうはしないでください。理由は、神から与えられた想像力を使って、その怒りに満ちた神の御顔を思い浮かべてほしいのです。そう、あなたが、もちろん私じゃありません。私は愛に溢れているので。でも、あなたが怒りに燃えると、言わば、湯気が立って、口は閉じ、鼻の穴は開き、(ものすごい鼻息!!)私、どうです？(会衆：完璧です。)

それが顔に出る。それは顔に出ます。それが神の仰っていることです。「わたしは、大変憤慨する。それがわたしの顔に出る。」つまり、わたしは憤りで燃え上がる。

一エゼキエル 38：19ー

わたしは、ねたみをもって、...(これもまた、多くの人をつまづかせ、混乱させる言葉です。)嫉妬、妬み、食欲：これらは必ずしも同義ではありません。実際、日曜日の「聖書預言・アップデート」では、コラの食欲について話すつもりです。妬みや嫉妬とは違います。その人が持っているものが故に、妬むことがあります。

誰かに嫉妬するのは、相手が持っているものを自分が持っておらず、あなたが持っていないものを相手も持つべきじゃないと考えること。で、食欲さは、これはまったく別の次元の話です。食欲とは：あなたは私が持っていないものを持っている。だから、あなたが持っているものを私が持つためあなたから奪う。皆さん分かったのを願います。実は、今夜練習しているのです。日曜日に説明できるよう準備しなければならないからです。ですから、この妬みは、神が私たちに妬んでおられるのではなく、私たちのために、妬んでおられるのです。主は、妬まれる神です。

...激しい怒りの火をもって告げる。その日には(こんにち)必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。

ああ、これはぜひ最前列で観たいです。そうなるかもしれません。皆さんもそうなるかもしれません。今すぐ予約を入れたほうがいいかもしれません。私はこれが観たいです。この大きな地震とは、M8やM9どころではありません。これは桁違いです。非常に巨大な地震で、

一エゼキエル 38：20ー

海の魚、空の鳥、野の獣、地面を這うすべてのもの、地上のすべての人間は、わたしの前で震え上がり、...

わお!! その響きは、、最後まで聞いてください。ちょっとした言葉遊びをしようと思います。地震：Earthquake 地球/Earth 全体が震えている/quake ように聞こえます。地上全てが。

...山々はくつがえり、... (それほどの地震です。山が崩れ落ちてしまうほど巨大な。) ...崖は落ち、...

想像してください。険しい崖が崩れ落ちます。

...すべての城壁は地に倒れる。

いいですか。壁がないと言い張るのなら、ここにあるのが分かるはずですよ。言っておきます。

一エゼキエル 38：21ー

わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる —神である主のことば—。剣による同士討ちが起こる。

一エゼキエル 38：22ー

わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼ともにいる多くの国々の民の上に豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

唸りが聞こえてきます。「火と硫黄だ～～!!」この方がいいでしょ。雹？ 黙示録のように聞こえませんか？ ええ、そうだから。その雹というのは、ゴルフボールどころじゃありません。これらは巨大です。で、

火と硫黄が同時に？繰り返しますけど、最前列席で観たいです。マズイですか？

一エゼキエル 38：23ー

わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき彼らは、わたしが主であることを知る。」

終わり。そうなります。これを言えばもう十分ですね。締めくくりに、2、3の考えを言います。あなたは考え、統計学的な確率について話しても、あり得ない確率です。ちっちゃなちっちゃなイスラエルに、巨大な連合国家の大軍勢が向かってきます。ちっちゃなちっちゃなイスラエルにとって、ゲームオーバー。消灯です。しかし、神は。笑っておられます。「わたしを見ていなさい。わたしにしかできないことだから、わたしがやったと分かる方法でします。それ以外説明できないように。自然界では説明のつかないことで、超自然世界でのみ可能です。それが"わたし"」全ての国々が、まず第一に、隠れ、逃げ、全地球規模の地震であるこの地震から生き延びようとする。そして、その他のすべてが同時に起こる。その時のことを考えます。できればその前に、こうなる。「これは神だ。」それに対して、私がおの場にとら言います。「君、そう思う？」どうも間違って聞こえてますね。きっとそうじゃないかも。

"人の口からは、心にあふれていることが出て来るのである。"(マタイ 12:34 参照)

つまり、「はあ？君、そう思うの？」つまり、聞いてください。悲惨なことが起きたとします。人はどれだけ早く神が要因だと考えるでしょうか？ 神からのしるしです。実際、保険会社はこれを以前は"神の行動(不可抗力)"と呼んでいました。本当に？ 神の御業。まあ、ある意味そうですが、ことによりますね。それはあなたの注意を引くための神の行動でした。それが神であることをあなたに知らせるために。神がそれをなさいました。それができるのは神のみです。神はなぜ、あのようなかたちでそれをなされたのでしょうか？ そうすれば、すべての人がそれが神であることを知るから。(くすくす笑い)「わたしがしたのですよ。」神よ、それができるのはあなただけです。「分かっています。だからそうしたのですよ。」もうひとつありますが、あと少しで終わります。私が、この章についてもっともっと話せることは皆さん、ご存知でしょ。そうはしません。ある説が信じられていて、それにはメリットがあるのですが、私たちが今読んだこの預言、その生々しい描写と詳細のすべてが、約24時間の間に起こるといふ説です。そして、それはもっとも有力で、というのも、ロシアは3時間半以内にイスラエルに踏み込むことができるからです。彼らの軍力は約3時間半でイスラエルに到着可能です。そして神はそれをご存じです。すると神は、「まあ、かなり速いですがね。わたしの方が速いです。わたしがやったことに疑いの余地がないように、わたしは、あなたに決定的な打撃と敗北を与えます。」

たしかこのことについては、聖書預言・アップデートで、2,3週間前にも話したと思います。あまりの混乱と混乱に彼らは互いに敵対し、そして殺し合います。私は、神がそうなさる時が大好きです。そう、敵があなたに向かってきて、その敵同士が対戦し、あなたの代わりにあなたの仕事をする。なぜなら、神は彼らを互いに殺し合うように仕向け、あなたがしなくても良いようになさるからです。私はその戦法を気に入っています。いいえ、という感じだからです。もう一度言うと、神の御業だというだけではなく、神がどのようになさるのか、なぜなさるのか、ということなのです。"どのように"、そして"御業"の背後にある"理由"を見失わないでください。なぜなら、神がなさることの"理由"を知るときすべてが変わるからです。ああ！今その理由がわかりました！ わお、神様！ 本当に驚くばかりです。あなたは本当に素晴らしいです。「分かっています。わたしはすごいのですよ。わたしは神ですから。」神様、私はあなたに畏敬の念を抱きます。「知っています。わたしはすごいのですから。」ちなみに、この言葉(awesome:畏敬)は神のみのためにあるとおきの言葉です。誰かが、すみません、私はただ...これで終わりにしますが、恐らくひどい終わり方ですが、「おお君、すごいね。」などと誰かが言うとき、違～～！ 誰かにそう言うとき、自分が何をいつているのかお分かりですか？ "あなたは凄い" (awesome) : あなたが言っているのは、私はあなたに畏敬(awe)を抱いています。やめてください！ 抱かないでください！ 神だけが素晴らしく、神聖で、私たちが畏敬の念を抱くお方であられます。あの軍事キャンペーンはブッシュの時だったのでは？ なぜその話に行ったのか？ 悪魔に取り憑かれたブッシュ W？ 「衝撃と畏敬」と呼ばれていたのでは？ おお、自分のネタを使いなさいよ！ これは真の衝撃で真の畏敬の念です。あまりにそうなので、人々は誰も、それが主で神であられることを知ります。それがすべての目的です。イスラエルはどうですか？ イスラエルは今、何をしていますか？ おお、大口叩いて悪口言ってますか？ 「そうだ！！彼らを殺し、打ち負かし、打ち砕くぞ～」みたいに。そして、彼らはこう言います。「おお、神よ！ 私たちはもうおしまいです！」神は仰います「いいえ、あなたはおしまいはありません。これはわたしが引き受けます。主だけが栄光をお受けになるように、そして当然ながら、主はそうされます。私たちの手柄にすることは決してできません。そうしようとしても、笑い話にしかありません。ギデオンについて考えます。神がこの人物を選ばれ、メディアン人をイスラエルの手に渡そうとしておられます。ギデオンは言います。「人違いです。」「いいえ、あなたがその人です。」皆があなたを見て同じことを言うでしょう。: 「あいつではない。あり得ない。神が、、、この

人物ができるかいな。」それがポイントです。わたしがあなたを選んだのは、人々があなたを見て、こう思うだろうから。：「あはは、いやいや、ナイナイ。彼じゃない。彼にできるわけない。」知っています。ギデオンではありません。神がなさいました。ですから、ギデオンが望んだとしても、300人の足の不自由な者、目の見えない者、足の萎えた者、かがんで水に顔を突っ込めない者を連れて、イスラエルの民の陣営に戻ることはできませんでした。彼らは手で水をすくって口に運ばねばなりませんでした。かがむと、立ち上げられるかどうかわからないから。話に合致します。ここでギデオン登場。その家族で最も小さい者、その部族で最も小さい者、イスラエルのすべての部族で最も小さい者。3 ストライクでアウト。「いえ、あなたは完璧です。」そして、あなたはミディアン人から隠れるために小麦を打っています。ぶどうの踏み場で小麦を打っています。(士師記 6 : 11 参照) ここで、神が仰います、今夜はギデオンについて学ぶつもりはありませんが、これで締めくくります。主の使いが彼に現れて言った。「力ある勇士よ、...(士師記 6 : 12 参照) 私はギデオンの姿を思い浮かべます。ここにユーモアを見て申し訳ありません。ギデオンはミディアン人から身を隠しています。神が仰います。「おお、力ある勇士よ！」ギデオンは、「どこに？」— (笑) — 今すぐにそんな人が欲しいくらいです。「いいえ。あなたです。」そして何が起こるかご存知ですね。ギデオンはこんな風に、「いいえ、あなたはファイルを間違えました。あなたは間違った人物を選ばれました。本当に、本当に、本当に、あなたなら、天気予報で、明日の午後 2 時、風上/ウィンドワード、山側/マウカ、一時雨で、H-1 の高速道路で鳥がフロントガラスを直撃するようにしてください。」それは基本的に、いわゆる「羊の毛を置く」箇所の具体性に相当します。(士師記 6 : 37 参照) そして、神は「はいはい。分かった分かった。あなたはこれから逃げられません。わたしはあなたを用います。あなたはこの地で一番、こんなことができる誰とも思われない人物だからです。ですから、人々はあなたを見てこう言います。"わお！これは神に違いない。"と。」ありがとうございます。OK。おしまいです。カポノ、上がって来てください。皆さん、ご起立ください。じゃあ、来週は、続編 2.0、パート 2。主の御心なら、39 章です。見方によっては良くもなるし、悪くもなります。おお主よ、本当に、本当に、ありがとうございます。聖書預言、とりわけこの預言について。主よ、わお〜！だけです。この最後の世代に生きている私たちが、このことが実現し始めるのを見ることになる考えると、私たちが理解するには高すぎますが、あなたが私たちに現実のものとなります！主よ、預言だけでなく、預言の詳細を感謝します。私たちは聖霊によって、その詳細な点と点を結びつけ、それゆえにあのラッパの響きに結論づけることができるからです。携挙との関係は曖昧ですが、そのタイミングは、非常に近いからで、たった1つを意味します。：携挙は非常に近いこと。ですから主よ、今夜この聖書の学びを終え、家路につくとき、この世は私たちの家ではないという励ましと共に帰れることを願います。まもなく、もうまもなく、あなたは私たちをこの世から連れ出され、あなたの御父の家で私たちのためにご用意されたところに連れて行ってくださいます。待ちきれません！主イエスよ、早く来てください！ マラナタ！ イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7